

な か ま

プリンストン日本語学校

平成28年度 No. 4

平成28年 4月24日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



地震と日本語学校

熊本県を中心に、九州地方で発生した地震は、五十数名の犠牲者を出し、十万人を超える人々が避難をしています。子どもたち、保護者の皆様の中には、彼の地と縁のある方たちもいらっしゃることでしょうが、そのご心配のほどはいかばかりかと思えます。亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、対策に心血を注いでいる皆さんには敬意を表し、被災地の一日も早い復興を心より祈念いたしております。◆阪神・淡路大震災が発生した時に、遠い千葉の学校の職員室では、「こんな大変な時に、ここでこうしていいのでしょうか?」と私に問いかけてきた若い先生たちがいました。当時学年主任であった私も、同じく居ても立っても居られない思いでしたが、目の前の子どもたちを放り出していくこともできません。先生たちには「できることをしよう。ここにいる生徒たちと今回の地震のことを共有し、学ばせていくことも、今できることの一つだ。」と答えたことを思い出します。遠い米国の地において、直接手を差し伸べることが出来ず、歯がゆい思いをしている子どもたちもいるかもしれません。できることであれば、ボランティアとして支援を行うこともいいですし、募金という形で気持ちを伝えることもいいかもしれません。また、本校の児童・生徒たちにできることの一つには、今回の災害を通して、日本という国土をより深く理解し、心の中に強く留めていくこともあります。



これから帰国をしたり、日本とのかかわりを生涯の中で持ち続けたりしていく子どもたちにとって、それは大切なことだと思います。

◆わが国の災害対策基本法に示されているように、災害から守るべきものは、国土並びに国民の生命、身体及び財産となっています。これを実行するためには、三つの「知ること」が必要で、①災害の起こり方を知る、②社会の弱いところを知る、③対策を知ることとなります。①は災害のメカニズムですから、理科が中心となりますが②と③は社会科が中心ということになりそうです。前回の学習指導要領の改訂に伴い、小学校社会科の目標が「児童が社会生活や我が国の国土に対する理解と自然災害の防止の重要性についての関心を深めることが出来るようにすること、」と改善が図られています。特に5年生では『我が国の国土が地震や津波、

風水害、土砂災害、雪害などの自然災害が起こりやすいこと。市に被害を防止するために…さまざまな対策…を進めていること…』を学ぶことが示されています。日本語学校での学びが、地震等の災害に対する備えを持ち、日本の国土とそこで暮らす人々への共感・愛着へと育ってくれることを願っています。

今日 の 予定

●**教育課程説明会のお知らせ**
先週17日に実施予定だった教育課程説明会は、各種会議等の開催と重なったため、24日に延期となりました。開始時間は午後3時30分(304)

●**クラス委員集会** 午後1時から(301)

●**クラス写真撮影** (下表参照)

時間	12:40	13:10	13:20	13:30	13:40
group	教職員	ばら	ゆり	さくら	小1
開始	13:45	13:50	13:55	14:00	14:05
group	小2	小3	JASL1.3	JASL4.5	P小1
開始	14:10	14:15	14:20	14:25	14:30
group	小4	小5	小6	中3	中2
開始	14:35	14:40	14:45	14:50	14:55
group	中1	P小低	P小高	P中高低	高/P高

授業参観・懇談会計画

【5月1日】

- 1 時間目 授業参観 小学1年・プリンストン小
- 2 時間目 懇談会 小学1年・プリンストン小
- 3 時間目 授業参観 小学5年・6年
- 4 時間目 懇談会 小学5年・6年

【5月8日】

- 1 時間目 授業参観 小学3年・4年
プリ小1・プリ中
- 2 時間目 懇談会 小学3年・4年
プリ小1・プリ中
- 3 時間目 授業参観 小学2年・中学部
- 4 時間目 懇談会 小学2年・中学部



4月のおしらせ

スタッフの交替

日曜事務 スー 牧子(退職) → 佐藤 香里(新任)

